

平成29年度 事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

東日本大震災から7年、その後も各地で地震災害発生の際に多くの犠牲と被害がありました。改めて犠牲になられた方々に対して謹んで哀悼の意を表しますと共に被災された方々にも心からお見舞申し上げる次第です。

地震災害の後に起こる「瓦は重いから地震に弱い」との風評被害への対応策として我々瓦業界は、建築基準法の改正前と改正後の説明と共に「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」の完全実施を目指し啓蒙活動を続けています。また、ガイドライン工法での施工実施状況報告や、瓦採用のお願いのために各行政機関への陳情活動を行って参りました。

PR活動として、「日本瓦の製造、施工技術」をユネスコ無形文化遺産登録するために、日本粘土瓦ユネスコ登録推進協議会を立ち上げ活動して参りました。そして登録実現を果たすために、他団体にも参画しながら運動を進めて参りたいと思っております。

全瓦連が主催する技能グランプリは九州ブロックの福岡県で開催させて頂きました。屋根の原点に戻り、切妻屋根架台で協議日程を1日縮め運営費の削減を計りながら17名の選手にて競技して頂きました。そして、大盛況の内に終了する事が出来ました。改めて、九州ブロックの各会員様・役員、又、業界関係者、そして各行政省庁と春日市長様にお礼を申し上げます。

又、昨年10月には(一社)全日本瓦工事業連盟、社団法人許可40周年祝賀会と記念誌も各会員様・関係者各位のご理解・ご協力にて開催出来、発刊出来ました。改めてお礼申し上げます。

主な事業報告

1. 指導委員会

- 1) 「陳情書等のあらまし」小冊子の作成、配布
- 2) 災害対策マニュアルの有効活用
- 3) 災害時等基金創設について検討

2. 技術委員会

- 1) 災害時の初期対応のブルーシートのかけ方の研究調査報告、活用
- 2) ガイドライン工法の採用遵守促進
- 3) 「瓦屋根標準施工要領書」JKY-2014 及びダイジェスト版の活用促進

3. 安全対策委員会

- 1) 第三者賠償保険の事故率の低減対策
 - ・ 葺き替え時のシート養生マニュアルの配布
- 2) 安全カレンダーの制作と内容の一部変更
 - ・ 防災豆知識の追加
- 3) 熱中症への注意喚起と対策用ちらしの配布
- 4) 現場での体験実例集「ヒヤリハットから学ぶ安全対策」冊子の製作と加盟事業所への配布

4. PR 委員会

- 1) PRグッズを作成（うちわ・リーフレット・のぼり旗）
- 2) 新規PRグッズを作成
 - ・ 全瓦連名入りブルゾン 200枚 組合名入りブルゾン 200枚
 - ・ 「軽い屋根より丈夫な家」小冊子作製 1万冊 50円
- 3) PR大賞
- 4) 日本粘土瓦ユネスコ登録推進協議会の活動応援